

児童青年期精神医学

1 構 成 員

	平成 25 年 3 月 31 日現在
教授	0 人
准教授	0 人
講師（うち病院籍）	0 人（0 人）
助教（うち病院籍）	0 人（0 人）
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	3 人
医員	0 人
研修医	0 人
特任研究員	1 人
大学院学生（うち他講座から）	0 人（0 人）
研究生	0 人
外国人客員研究員	0 人
技術職員（教務職員を含む）	0 人
その他（技術補佐員等）	1 人
合計	5 人

2 教員の異動状況

- 杉山 登志郎（特任教授）（H22.10.1～現職）
 山村 淳一（特任助教）（H23.4.1～H25.3.31 退職）
 野村 和代（特任助教）（H23.4.1～現職）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 24 年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	5 編（2 編）
そのインパクトファクターの合計	11.86
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0 編
そのインパクトファクターの合計	0.00
(3) 総説数（うち邦文のもの）	16 編（16 編）
そのインパクトファクターの合計	0.00
(4) 著書数（うち邦文のもの）	0 編（0 編）
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0 編（0 編）
そのインパクトファクターの合計	0.00

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
 B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. Anitha A, Nakamura K, Thanseem I, Yamada K, Iwayama Y, Toyota T, Matsuzaki H, Miyachi T, Yamada S, Tsujii M, Tsuchiya KJ, Matsumoto K, Iwata Y, Suzuki K, Ichikawa H, Sugiyama T, Yoshikawa T, Mori N. Brain region-specific altered expression and association of mitochondria-related genes in autism. *Mol Autism*. 2012 Nov 1;3(1):12.
2. Anitha A, Nakamura K, Thanseem I, Matsuzaki H, Miyachi T, Tsujii M, Iwata Y, Suzuki K, Sugiyama T, Mori N. Downregulation of the Expression of Mitochondrial Electron Transport Complex Genes in Autism Brains. *Brain Pathol*. 2012 Oct 23. doi: 10.1111/bpa.12002. [3.995]
3. Anitha A, Thanseem I, Nakamura K, Yamada K, Iwayama Y, Toyota T, Iwata Y, Suzuki K, Sugiyama T, Tsujii M, Yoshikawa T, Mori N. Protocadherin α (PCDHA) as a novel susceptibility gene for autism. *J Psychiatry Neurosci*. 2012 Oct 2;37(6):120058. [5.342]
4. 伊藤 大幸, 谷 伊織, 行廣 隆次, 内山 登紀夫, 小笠原 恵, 黒田 美保, 稲田 尚子, 萩原 拓, 原 幸一, 岩永 竜一郎, 井上 雅彦, 村上 隆, 染木 史緒, 中村 和彦, 杉山 登志郎, 内田 裕之, 市川 宏伸, 田中 恭子, 辻井 正次 : 研究と報告 日本版 Vineland-II 適応行動尺度の開発 不適応行動尺度の信頼性・妥当性に関する報告、精神医学、)54(9), 889-898.2012.
5. 井上雅彦, 岡田涼, 野村和代, 安達 潤, 辻井 正次, 大塚 晃, 市川 宏伸 : 強度行動障害における自閉性障害との関連性 : 日本自閉症協会評定尺度(PARS)短縮版による分析 ,精神医学 54(5), 473-481.2012.

インパクトファクターの小計 [9.337]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Egawa J, Watanabe Y, Nunokawa A, Endo T, Kaneko N, Tamura R, Sugiyama T, Someya T. A detailed association analysis between the tryptophan hydroxylase 2 (TPH2) gene and autism spectrum disorders in a Japanese population. *Psychiatry Res*. 2012 Apr 30;196(2-3):320-2. [2.524]

インパクトファクターの小計 [2.524]

(2-1) 論文形式のプロシーディングズ

(2-2) レター

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 杉山 登志郎 : 【日本型の精神医療を考える】 一般外来での発達障害の診かた, 外来精神医療,13(1), 18-21,2013.
2. 野村 和代, 杉山 登志郎 : 【震災の後を生きる子ども】 あらためて振り返る震災後の子どもの生活 子どもを心身を守るために必要なこと, 発達,34(133),26-30,2013.
3. 杉山 登志郎 : メンタルヘルスの広場 発達障害と子ども虐待, 心と社会, 43(4),116-119,2012.
4. 杉山 登志郎 : 発達障害から発達凸凹へ, 児童青年精神医学とその近接領域, 53 (3) ,220-229,2012.

5. 原田 新, 野村 和代, 山村 淳一, 杉山 登志郎:【東日本大震災における子どもの心とその支援】 大災害時における子どもの心の支援の考え方, 小児科臨床, 65(10), 2113-2117, 2012.
 6. 杉山 登志郎:【子どもの治療とは何か】 子どものこころの最新治療 自我状態療法 多重人格のための精神療法, そだちの科学, 19, 76-83, 2012.
 7. 山村 淳一, 野村 和代, 原田 新, 鈴木 勝昭, 辻井 正次, 杉山 登志郎:【災害と精神医学】 福島における学校を核とした子どものこころのケア支援, 臨床精神医学, 41 (9), 1163-1166, 2012.
 8. 山村 淳一, 野村 和代, 望月 直人, 中島 俊思, 辻井 正次, 杉山 登志郎:【東日本大震災-被災地の子どもの支援】 福島県における震災後の子どものこころのケア支援, 子どものこころと脳の発達, 3(1), 13-16, 2012.
 9. 野村 和代, 山村 淳一, 杉山 登志郎:【発達障害児の家族支援】 家族の特性に配慮した支援, 発達障害医学の進歩, 24, 45-51, 2012.
 10. 野村 和代, 杉山 登志郎:【クローズアップ発達障害】 <発達障害への対応> 初期対応としての環境調整, 行動療法 専門医紹介や薬物投与の前に試みること, 小児内科, 44(5), 739-742, 2012.
 11. 杉山 登志郎:子どものこころを考える(分子脳機能から発達障害まで) 子どものこころを考える発達障害から発達凸凹へ, 脳 21, 15(2), 224-225, 2012.
 12. 杉山 登志郎, 辻井 正次:【発達障害の早期発見・早期療育】【東日本大震災とそだち】 東日本大震災とそだち 福島への支援, そだちの科学, 18, 70-73, 2012.
 13. 野村 和代:【子どもの治療とは何か】 子どものこころの最新治療 発達障害児の保護者へのペアレント・トレーニング, そだちの科学, 19, 60-63, 2012.
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの(学内の共同研究)
1. 鈴木 勝昭, 杉山 登志郎:【発達神経心理学のトピックス】 自閉症スペクトラムと脳, Brain Medical, 24(4), 309-316, 2012.
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの
1. 加藤 志保, 杉山 登志郎:【精神科医からみた子どもの精神疾患】 広汎性発達障害(自閉症スペクトラム障害), 小児科, 53(5), 545-552, 2012.
 2. 松尾理沙, 野村和代, 井上雅彦:発達障害児の親を対象としたPTの実態と実施者の抱える課題に関する調査, 小児の精神と神経, 52(1), 53-59, 2012.

(4) 著 書

(5) 症例報告

4 特許等の出願状況

	平成 24 年度
特許取得数 (出願中含む)	0 件

5 医学研究費取得状況

(万円未満四捨五入)

	平成 24 年度	
(1) 文部科学省科学研究費	1 件	(140 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	2 件	(260 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0 件	(0 万円)
(4) 財団助成金	0 件	(0 万円)
(5) 受託研究または共同研究	0 件	(0 万円)
(6) 奨学寄附金その他 (民間より)	0 件	(0 万円)

(1) 文部科学省科学研究費

- 野村和代 (代表) 学術研究助成基金助成金 (若手 (B)) 「虐待をともなう自閉症スペクトラム障害幼児と保護者への包括的支援プログラムの開発」 140 万円 (新規)

(2) 厚生労働科学研究費

- 杉山登志郎 (分担者) 障害者対策総合研究事業「発達障害者に対する長期的な追跡調査を踏まえ、幼児期から成人期に至る診断等の指針を開発する研究」「発達障害の早期介入に関する前方向視的研究」「高機能広汎性発達障害に成人におけるミラーニューロン機能に関する画像研究」60 万円 (継続) 代表者 福島大学大学院人間発達文化研究科 教授 内山登紀夫
- 杉山登志郎 (分担者) 地域医療基盤開発推進研究事業「被災後の子どものこころの支援に関する研究」「原子力災害が子どもと家族に及ぼす影響およびその予防のための心理教育に関する研究」200 万円 (新規) 代表者 独立行政法人 国立成育医療研究センター 総長 五十嵐 隆

(3) 他政府機関による研究助成

(4) 財団助成金

(5) 受託研究または共同研究

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表, 総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	1 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	1 件
(3) 学会座長回数	0 件	0 件
(4) 学会開催回数	0 件	0 件
(5) 学会役員等回数	0 件	6 件
(6) 一般演題発表数	0 件	

(1) 国際学会等開催・参加

- 国際学会・会議等の開催
- 国際学会・会議等における基調講演・招待講演
- 国際学会・会議等でのシンポジウム発表
- 国際学会・会議等での座長

5) 一般発表

口頭発表

ポスター発表

(2) 国内学会の開催・参加

1) 主催した学会名

2) 学会における特別講演・招待講演

1. 杉山登志郎：私の児童精神医学事初め、第 30 回日本小児心身医学会学術集会 30 回記念特別講演、2012 年 9 月、名古屋市

3) シンポジウム発表

1. 杉山登志郎：愛着形成と虐待の神経基盤～シームレスな子どもの発達支援に向けて、発達障害と子ども虐待、第 35 回日本神経科学大会、2012 年 9 月、名古屋市

4) 座長をした学会名

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

杉山登志郎 日本小児精神神経学会常務理事

杉山登志郎 日本発達障害学会理事

杉山登志郎 日本子どもの虐待防止学会監事

杉山登志郎 日本トラウマティック・ストレス学会理事

杉山登志郎 日本乳幼児医学・心理学会理事

杉山登志郎 日本心身医学会評議員

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0 件	0 件

(1) 国内の英文雑誌等の編集

(2) 外国の学術雑誌の編集

(3) 国内外の英文雑誌のレフリー

9 共同研究の実施状況

	平成 24 年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	0 件
(3) 学内共同研究	0 件

(1) 国際共同研究

(2) 国内共同研究

(3) 学内共同研究

10 産学共同研究

	平成 24 年度
産学共同研究	0 件

11 受 賞

- (1) 国際的な授賞
- (2) 外国からの授与
- (3) 国内での授賞

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

14 研究の独創性，国際性，継続性，応用性

15 新聞，雑誌等による報道

1. 「見過ごされる大人の発達障害」、NHK 総合テレビ、情報ライブ ただいま！生出演、2012 年 5 月 18 日（金）22：00～22：48
2. ETV 特集「人とうまく付き合えない～いじめ・虐待と自閉症スペクトラム～」、NHK 教育テレビ 2013 年 3 月 3 日（日）22：00～23：00